

【教育目標】自ら考え 判断し 明日を創る子どもの育成



# 学校報 梵天

E-mail      [ouchi-es@edu.city.yurihonjo.akita.jp](mailto:ouchi-es@edu.city.yurihonjo.akita.jp)  
<http://www.city.yurihonjo.lg.jp/edu/ouchi-es/index.html>

由利本荘市立大内小学校 校長室から  
令和7年12月17日 No. 27

## PTA授業参観ありがとうございました

12月12日（金）はPTA授業参観日・会計監査・三役会を行いました。悪天候の中、たくさんの保護者の皆さんにご参観いただき、ありがとうございました。授業参観では、保護者の皆さんとともに活動するような内容もあり、子どもたちは充実した時間を過ごすことができました。また、3年「親子梵天教室」、6年「移動保健教室」が合わせてありました。ご協力ありがとうございました。

学年・学級懇談では、子どもたちの学校での様子をお話したり、ご家庭での様子を伺ったりすることができ、子どもたちの成長を共有する機会となりました。冬休みの過ごし方や課題についてもお話しすることができました。

授業前には、会計監査もお願いしました。時間の少ない中対応してくださりありがとうございました。懇談後には、PTA三役会も開かれ、来年度のPTA活動等に向けての今年度の予定を確認することができました。ありがとうございました。

さて、令和7年度も残すところ3ヶ月ほどです。子どもたちは次の学年に向かって「進級するまでに〇〇ができるようになりたい」と、少しずつ歩みを進めているところです。2月のPTAには、より歩みを進めている姿をご覧いただけるよう、子どもたちを支援していきたいと思います。今後ともご協力の程よろしく願いいたします。



1年生：生活科  
「サツマイモのつるでクリスマスリース作り」



2年生：生活科  
「おもちゃランドで遊ぼう」



3年生：総合的な学習の時間  
「親子梵天教室」



4年生：総合的な学習の時間  
「10歳の自分」



5年生：外国語科  
「I can sing well」



6年生：保健体育科  
「移動保健教室」



秋田県児童生徒美術展が秋田市で開催されます。大内小からは5名のお友達の作品が本荘由利地区の審査を通過して出品されます。冬休み期間中です。ぜひ、足を運んで作品の鑑賞を楽しんでみてください。

展示期間：令和8年1月7日（水）～10日（土）

時 間：9:20～17:00（7日は15:30～17:00 10日は9:20～14:30）

会 場：秋田市文化創造館〈あきた芸術劇場ミルハウス向かい〉

#### 出品作品

3年 浅利 \*\*「カラフルなぬがあらわれた」

4年 鈴木 \* 「ふでばこ遊園地」

齊藤 \* 「さくらのおかとひみつの花畠」

5年 小笠原\*\*「ねこワールド」

6年 伊藤 \*\*「迷いこんだ森の中」



## お願ひ 令和7年度 教育活動に関するアンケート

令和7年度の大内小学校の教育活動についてのアンケートを実施します。4月からこれまでを振り返り、お答えください。結果は、冬休み明けや来年度の学校経営へ生かすようにしていきたいと思います。16日付で、用紙を配布していますので、Webか紙面での回答をお願いします。お子さん一人ずつの回答となりますので、お手数をおかけしますが、ご協力ををお願いします。Web回答の場合は、こちらのQRコードからもできます。紙面かWebでの回答かが分かるように、配布済みの封筒にチェックを入れて提出してください。



## ご協力ありがとうございました

～令和7年度 第2回 由利本荘市学校生活アンケート～

12月10日～12月16日に実施した「由利本荘市学校生活アンケート」へのご協力、ありがとうございました。

今回、大きなじめの事案はありませんでしたが、「言葉」についてのご意見が多く寄せられました。

学校でも、特に遊びの場面で「言葉」について指導することが多くあります。私たちは、子どもたちに「その言葉を言わされたとき、相手はどんな気持ちになるか」を考え、自分の発した言葉の重さに気付いてほしいと思い、学年の発達段階に応じて、日々、話をしています。しかし、これはすぐに身に付いたり、改善されたりするものではないと思っています。なぜなら、子どもたちが毎日使う言葉は、これまでの生活や周りの人とのやり取りの中で自然に身に付けてきたものだからです。「しね」「ざこ」「大嫌い」「もう遊ばない」などの“チクチク言葉”を軽い気持ちで使ってしまい、時に相手の心を傷つけます。アンケートでは、ご家庭でもゲームや兄弟げんかの場面などで見られるとの声もありました。ご家庭でも私たちと同じように言葉づかいについてお話ししてくださっていると知り、心強かったです。

本来、言葉は心と心をつなげるために使われるものです。やさしい言葉や思いやりのある言葉“ふわふわ言葉”は、人を元気にし、笑顔を広げます。みんなが気持ちよく過ごせる大内小学校にするためにも、言葉のもつ力について考える機会はこれからも大切にしていきたいと思います。さらに、私たち大人も、子どもが「言葉」を身に付ける環境の一人であることを自覚していくことが大切だと感じています。私たち職員も日々の関わりを振り返る機会となりました。

アンケートには次のようなご意見もありました。「自分の子どもが相手の言葉を引き出すような行動をしているかもしれない」「一方的に子どもの言うことだけを聞いてるので、本当かどうかわからないので心配なときがある」「家庭でも、人の尊厳を守れる人に育てたい」「トラブルがあっても子ども同士で解決できるようにしてくれている」「話を聞いてくれてありがたい」等こうした声は、私たちの励みになります。これからも、学校生活と家庭生活の両面から大内っ子の成長を見守っていくことができるよう、引き続き、ご協力をよろしくお願ひいたします。